

令和 8 年度環境厚生常任委員会行政視察報告書

1 参加委員

(委員長) 阿部 英光 (副委員長) 岡崎 進

(委員) 早川 仁美、清野 匡志、新倉 真二、今井 理華

2 視察日時

令和 8 年 7 月 3 日 (金曜日) 11 時から 12 時まで

3 視察先

つるみね西ボランティアセンター

4 視察事項

組織概要、課題などについて

5 視察概要

	(担当 今井理華)
視察先選定理由	政策討議のテーマ「支え合いの地域づくりについて～誰ひとり取り残さない地域社会の構築～」に基づき、本市内のボランティアセンターと包括支援センターの実態把握のため選定した。
内 容	(1) 鶴嶺西地区社会福祉協議会のボラセン部として活動している。 (2) 会員数は 70 名 (うちコーディネーター 13 名) だが実際に活動しているのは 35 名ほど。 (3) 平均年齢は 74 歳。 (4) 2025 年度の活動実績は 902 件 (71 人からの申込)。最多が「車による送迎」「外出付き添い」で、以下、「買い物、薬取り等」「草取り、剪定、枝切り等」と続く。 (5) 地域の課題としては少子高齢化と後継者不足で活動の維持困難を上げ、地域活動やボランティア活動への関心を高める必要がある。 (6) 様々な地域団体と定期的な会議で連携を図っているが、各自治会との連携は少ない。 (7) 経済的なことも含めて、様々な支援が欲しい。
考 察	実際に最前線で活動している方からお話を伺い、課題や要望、提案をお聞きすることができた。現場からの声として政策提言に盛り込めれば、市側に知ってもらうことで、より良い関係、活動につながると考える。